No198 BASTOS,17 de JANEIRO de 1954 O PROGRESSISTA REG. 4.576 2.695 S.PAULO A.P

バストス週報

第百九十八号
昭和廿九年
一月十七日
発行

REGISTADOR
KOITI MORI
発行所
RUA PRES.
VARGAS.188
BASTOS

REDATOR
SHION ODA
C.P112

誌代
一ヶ年 60cr
外部 70cr

愛國者は起て

世界第三次大戦は勃發する

世界人类の仇敵ソ聯の攻撃侵略は目前に迫った、我等の民族の祖國日本は火の玉となって自国防衛の為に總立ちの体制をとった。在伯同胞よ 愛国者は起て！

（卑怯者は地球の外へ消えされ）

金貨と神様と何れを取るか、非國民と愛国者とどちらを選ぶか

一切を投打ち全力を挙げて再軍備に立上った祖國の姿と血と魂の総てを結集して祖國防衛を決意した八千万同胞の苦衷と覚悟が分らないのか

祖國日本の大慈大悲の親心がまだ解らないのか ブラジルには一人も絶対に永住は出来ないのだ

もう良い加減に目を覚したらどうか

△捕虜、抑留者の国賊として叩き出されるか

ロ愛國者の赤誠で祖國の危急に馳せ参ずるか

ゼツリオ大統領は声明せり

『日本人は一人も要らない』と

在伯同胞よ 恥を知れ 恥を

ブラジルを叩き出される迄目が覚めぬのか 強制的に追放処分に掛けないと腰を上げないのか、どの面下げて祖國の同胞に見えるか 国賊として帰りましたと言ふ心算なのか

永遠に栄ある子孫の為めに愛國者は起て

（一月二十八日を期して神の陶汰は厳然たり実）

日本の同胞は泣いてゐる！在伯同胞の不甲斐なさ意気地なさ無知蒙昧さ動物界へ迄転落した浅ましさを！

日本人でありながら愛の哲学「朝鮮戦争」がまだ判らないのか

申込宛名

サント・アンドレ市アルイジオ・アゼベード街二五 郵函二五三 林 治人

ロンドリーナ市パラー街一〇〇二 馬目 林之助

バストス市郵函六四 梶田 実

モヂダス・クルゼス市ボンデグランデ 千葉 恒雄

ピンダモニヤンガーバ市 オーメンズメロ街二九三 野仲 五男

去る一月二日午前十時頃一台のカミニオンに男女十数人が乗って鬨の声をあげながら、バストス市中アデマル街とゼツリオ街を一巡して、どことなく消え去った。街は時ならぬ白雪まがいのパンフレット。

一枚ひろって読んで見ると前掲の様な宣伝文であった。

これが音に名高い櫻組挺身隊、朝鮮戦線へ出陣の悲願に燃えた愛國の香り高き志士の悲痛の叫びである。

町の人々は大てい拾って読まれたであろうが、多分あのパンフレット自動車はミチオ迄は廻らなかったと思ひ掲載して御目にかける事とする

聖市などでは前から数回にわたって通行の同邦に手交したと新聞にものっていたので一体どんな事が書いてあるのだろうと興味をもっていたが、成程よめばよむ程味があり、どちらが馬鹿でどちらが狂人か一寸判定に苦しむ

週報の読者の中にも桜組などを記事にのせるのを好みます。注意してくれる人もあるが、目の前で踊って見せてくれるのを満更そしらぬ顔も出来ぬではないか。

ラヂオ及自動車をお持ちの皆様！

ラジヤドールの修繕は

優秀の技術で敏速完全な仕事をする

弊店へ御委せ下さい

穂井田製綿所内附属工場

穂井田 静男

寒さの準備にお早く

皆様の工場へ御用命下さい

ルア・プ・ヴァルガス五三七番

穂井田製綿所

営業種目

古綿打直し。毛羽（けば）も打ちます

フトン綿製造並に販売

毛羽綿製造（軽くてとても着心地がよい）

御しらせ

今度佐伯製綿所を譲受引續き営業致します

何卒倍旧御引立下さる様願上ます

穂井田 一男

Alfaiataria Imperial

まるやま

皆様の洋服店

ルア・プレジデンテ・バルガス

Maruyama

これだ〳〵。家庭作業の合理化は……先づアリアンサ式手廻自働洗濯機からはじまる……

これまで御婦人の仕事といへば半日がかりのお洗濯でありました、大切の時間を、何と無駄に費ひやしたことでしょう、

此のマキナを使ってごらんなさい

四十枚のシャツや

ズボン下が

たった二十分で

グル〳〵と絞り上げて

干すばかり。

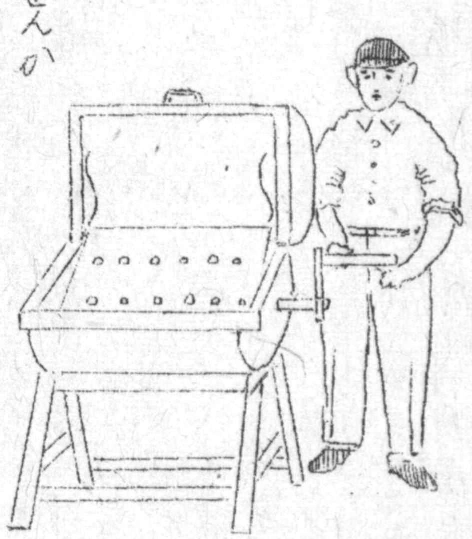
何と便利なものではありませんか

家庭作業の合理化は、まづ此の一台から。

二ケ年保証附（但し十年は必ず使用できる）

何をしまつしても、これだけは是非共。。。

備えて奥さんを楽にして上げて下さい。（サウデ）



既に使用して居られる御家庭

グロリア2 吉浦、吉田様、グロリア1 若野様

アルト 木内、小橋、小田様

ボンフィン 佐藤香作様 ウニオン2 板垣様

ストルツラ 池田、西村様、シャカラ 小沢様

ウニオン1 大野様、カスカタ 山下、東様

カウホ 木口、梶田様・等 其他

論より証據

実物を御らん下さい

中央水口ツルベタリア へ御申込下されば、実物試驗に参上します

アリアンサ洗濯機一手販賣人

加藤與太郎

櫻組挺身隊を讃美す

去年数回にわたってバストス市役所を通じ朝鮮戦線に義勇軍として参戦したいとレキリメントを出した人達は、その都度、伯軍は、目下そういふ手段を講ずるわけにはいかぬと脚下（却下）され、市役所では一般市民（主として日本人）に布告を出して、軍に関する件は一切当局に一任して然る可し、諸君は職場に忠実なれといっていた。

そんな事位でおとなしく引下る様な不甲斐ない櫻組ではない、次々と新手を打って、意氣地のない在伯同胞をヒンシュクせしめた。

昨年十月頃朝日新聞社中南米特派員田中利一といふ記者がバストスへ立寄られ、バストス的なものを見て歩いた時、櫻組の支部のあることを耳にして一日幹部を訪問したことがある。案内役を取ったのはブラ拓の崎田氏、銀行の吹本氏等であったが、何故か田中記者氏と櫻組支部幹部との対談の席に入るを許されず、話のすむ迄数時間外で待って居たといふことである。

記者とのインタービューはするが、もろ〳〵の外道とは話す必要ないといふ信條であったかも知れぬ

田中記者氏の談によると彼らは己れの過誤を認めて更生を誓ったといふことになっていた。記者氏は世界情勢を説き日本の現実を語し、真の愛國とは何ぞやと親切に彼らを説得した由である。そして充分の効果を信じてバストスを去った。

田中氏がバストスを去ると彼らは舌を出した。そんな判りきった世界情勢や日本の実情位、新聞や雑誌で先刻御承知とある。記者の知らないそれらの事象の裏の裏を自分達は知っている。

櫻組の使命と運動は祖國日本の直面せる危機に直接防衛の楯となって飛びこむことなんだ自分一個の安寧や利害に係ったことではない。

俺たちは帰國したければいつでも帰れるだけの準備はある、だが國家の際急に応ずるには三人や四人ではどうにもならぬ、ここに帰國運動を合理化する理由が生れ、この精神が凝って遂に在伯同胞に呼びかける一大デモンストレーションに発展するのである。何と君判ったかね、と彼らに代って煤灯もちをする次第であるが、こういふ運動が成功すると信じこませる大幹事の腹の仕組みは一体どんなからくりになっていることやら。

日時 一月二十日午後八時
場所 バストス産業會館
講師 總支部派遣講師
別府友太郎先生

生長の家 大講演會

どうぞ皆々様萬障御繰合せの上
擧って御來聽の程御願ひ致します
(入場無料)

櫻組ひっぱられる
バストスからも二三人

バストス市中にエタイの知れぬパンフレットを撒きちらして、ニヤツとしている支部の幹部級二三人は五日頃警察へ呼ばれ、そのまゝ聖市へ送られた由である。新聞では南米時事が一番櫻組の事を熱心に煽動していたようだが、新年を期して各地に櫻オドリの興行をするような指令が来ていたので、やっただけのこと。まさかあのパンフレットの名文句につられて仲間に入れてくれという程甘い者も、もう居るまい。きくところによると、バストスの幹部中にも、左右があり、大幹部のいふ通りにはならぬらしいが何しろ既に数百コントを本山へ奉っている弱点があるので今更無手で手を引くのも、もったいなく、ずるずるの形でもある。

どうせ、此處までのって来たのだ、今更降りなくともよい。行ける処まで遠慮なく乗って行きなさい。

日本は勝利の國である……この根本精神の上に色々な花が咲いたり蝶が舞ふたりするのです。そしてそれが貴下の運命であり我々移民の宿命であろう。要は幸福な民族である。(M人)

生徒募集

新学期 二月十五日より開始
入学受附 二月一日より

。家政科(修業二年) 伯語、宗教、数学、営養学、衛生、育児、家庭経済、家事、裁縫、刺繍、作法
満十二歳以上 ナシメント、アテスタード デ サウデ 出生証明、健康診断書が必要
入学金として 五十許を要す、月謝は百許

。裁縫科(修業一ケ年 又は一ケ年半)
裁縫、刺繍、料理、作法、伯語、日本語、修身
満十四歳以上、小学卒業証、出生証明、健康診断書を要す。入学は二月、八月の二回
入学金 五十許を要す

皆さん御存じの通り校舎も立派に増築され授業は何れも午前中となりますのでシツチからの通学も便利となりました
大事な勉学期を無為に過させず立派な主婦としての修養と勉学の為めに、あなたの嬢さんを入学させられますように。

バストス家政女学校

移轉御挨拶

私共一家都合により急にツパン市に居住する事となり去る一月十日移轉致しました。バストス在住中は一方ならぬ御厚誼を賜はり深謝申上げます

移転当日は御多忙中にも不拘御加勢を賜はり且つ御餞別を頂き重ね重ね御芳情に対し御礼申上げます。

一々拝趨御挨拶申上ぐ可き処其の意を得ず、紙上にて御礼申述べます
どうぞツパンへ御出かけの節は御立寄り下さい

一九五四年一月十四日
ツパンの新居にて
時川一馬
あき子
C.P 二五二

バストスの皆々様

謹告

年末年始のアデマール デ バーロス街の商店連合が行ひました大賣出しは皆様の御愛顧に依り好成績を得ました。就きましては紙上を以て御當籤の方を發表し厚く御礼申上げます

昭和廿九年一月十一日

アデマール デ バーロス街商店連合

特等（一本）クリスタレーラ中味入
中央 鏡畑キミ子様

一等（三本）グワルダローパ一棹宛
中央 草原秀雄様
中央 西川亥太郎様
ウニオンエ 藤川マリオ様

二等（十本）目醒時計一個宛
ボンフィン 藤本孝様
Sr. Francisco Silva (Chefe C. P.) 様
ボンフィン 西ヶ迫信秀様
アルト 小田勇様
中央 福森照夫様
アトグロッソ 牛山節子様
アマシャード 大内義夫様
中央 佐藤タカ子様
〃 山中フランシスコ様
〃 松本孝様

三等（十本）茶器一組宛
アルト 小野清志様
ウニオンエ 佐藤数丈様
中央 浅原昌丈様
グロリア 時川克馬様
三等 中央 脇山パウロ様
〃 守越悟様
アルト 本田マリオ様
アルト Neura Pigini 様
アルト Juvenil Mendes 〃
グロリア 石田義明様

四等（十二本）毛布一枚宛
ファルツーラ 谷口重丈様
アモンテアレグレ 紫藤信秋様
中央 板垣義熊様
聖市 高井ビヤジアンテ様
ウニオン 吉田政治様
ランシャリア 藤本次義様
グロリア 溝部優様
カスカッタ 小野勝義様
Centro Sr. Romolho Diás Silva
中央 藤原ジョリオ様
中央 澁谷晴男様
ウニオンエ 松浦繁丈様

五等（二十本）
更生區 西見正義様
ウニオンエ 小倉フジ子様
ウニオンエ 岩橋茂登様
中央 信田茂様
シャカラ 小沢勇様
ファルツーラ 清家よし子様
中央 信田繁様
グロリア 河村正丈様
Centro Sr. Antonio Viela da Cluá
〃 Romolh Dias Silva
〃 Alunda Alveo
中央 三次武丈様
ウニオンエ 藤川マリオ様
中央 佃コナミ様
中央 上西マリオ様
カスカッタ 渡部喜助様
グロリア 三宅利喜福様
ファルツーラ 古田道助様
カスカッタ 古賀実様
ウニオン 溝越ミキ子様

以上

バストス寫眞同好會員

新年第一回集會

来る正月廿四日（日曜）正午より佐野食堂に於て本年度第一回の集会を行ひ度く萬障御繰合せ御出席下さい

尚當日は本年度の會の方針を皆様と相談し計畫を建て度く存じて居ります

（幹事）

國際寫真展へバストスより出品せし作品中、宮崎昰氏作「ミポジション」、高谷長斗氏作「椰子」が見事入選し大いに氣を吐いた。

富士山

新津牛丸

世の中は平和であれと素直にもたてる姿か富士の神山

。

大自然富士は平和の象徴と神秘的なる美を見する哉

御知らせ

不動産所有權移讓税に就て

一九五三年十二月十五日附法律第二、四一二号に依りますと一九五四年三月末以後は財産移讓税（シーザ）の納入は予約金に（價格）依らず、現在評價に依って行はれる事となりました。その上本年度より一〇％の附加税が徴收される事になって居ります。

農耕地に依らず市街地区御購入各位も確定証書（地券）を讓受けないで居られる方は三月末日以前に作製する事が何にかと有利と思ひます。

一九五四年一月十二日

バストス移住地事務所

各位

話の屑籠　ある人からきいた話

あるオッサン過日作業中誤って手を負傷したのでバストス病院へ走り込み治療を頼んだ。ドットール浅原さんに見りや一ヶ月余かゝりますで…と云はれ、正月はだんだん近づいてくるし、仕事はでけへんし、治療代はかさんでくるやろし、こまった事になりよった…と、びくびくもので毎日病院通ひさしたお蔭で手の傷も大分良くなった。あまり嵩ばらん内に治療代払っておこうと正直者のオッサン會計へ申出たところ。が思ひの外に安いのでかへってびっくりしたといふ話

「私アア浅原ドトール。何カサ原、よう似たるな。初対面やったが、まだ若いのに技量もよし、オ一人さわりのよいドトールやと感心しましてん。なかなか治療代が安かったからちうてほめるのやおまへん。実はナア。けがして五六日目に用事がでけましてサンパウロ行きました。ところがキズほっとけまへんやろ。フトエ先生に診てもらいに行きました。処が先生は大家だけに自慢だ。キレイなモッサとちご田舎もんのオッサンだっしゃろ。あっさりしたもんや「チョイト位痛いのはガマンセニヤナリマセン」と、さっさと薬を塗り綳帯してくれはった。受附で二百針払ふて薬を外に五百針程買うてほうほうの態でバストスへ逃げ帰りました」……

そこでつくづく思った相である。むつかしい病氣ならともかく一寸した病氣やけがならよそ迄行かなくともバストス病院で結構や、カサ原ドトールは親切だし助手のモッサも中々ええし、會計のモッサも皆親切やし、こないええ病院あれへん一人でそう考へただけではもったいない是非新聞(週報のこと)に書いてあげてほしいと此のオッサン大提灯をもちこんで来たのであった。一月十日のこと。

鶏舎、蚕室、建築用の
ユーカリプトのまっすぐな
材料御註文に應じます

木炭
レンニア(手頃に割ってあります)
多少に不拘御用命下さい
モンテ アレグレ　佐藤利右エ門

棉花、アメンドイン、籾、ミーリヨ
農産物買入れます
アボマール デ バーロス街 二六二
佐藤勇

パソロ線囲碁大会観戦記　一月三日会場こぼれ話

○B級の優勝者藤田さん、戦前の予想を裏切って(失礼だが)諸豪を撫で切り。例会でもめったに入賞した事がないので皆口あんぐり。

○オ・クルスの加藤も今日迄碁会で賞品もらったことがない相で、此度の初入賞は記念としてドトールにやらんと眼を細くしてゐた。今年は南米の当り年とか。

○中川×羽森の一戦は準決勝なので重大な試合、盤側をぐるりと観戦武官の眼。双方精魂を盡して力戦、破乱に富んだ戦ひ、最後の半コウを争ひ、駄目詰めとなった。ところが中川氏何か錯覚を起したか自地の手入れに一石を入れた。見ていた中島氏ハッとして「中川さんどうです」と口を辷らす。すかさず羽藤氏規定を楯に手直しを禁じ目数を数へると、何と持碁ではないか、中川氏口惜しがるまいことか。とオーッ・プーソ・ケ・パリオ！横でワイワイ云ふから頭が変になったんだ。打直しとあって羽森氏今度は中押勝。何れにしても中川氏にとっては諦らめ切れぬ一戦だった。中川さん前夜のマージャンがたたりましたバイ。

○プ・プルデンテ市の天狗会の大天狗阿部対中島バストス氏の一戦(六級の予選)阿部氏此の間迄此の俺に五目置いていた奴に今日は反対に二目わかにやならんとはさても変れば変るせのすじやないどと口では云っても、此の若造め一ともみにもみ殺してくれんと、眼のない大石を双方がん張ってからみ合ひしまゝ中盤も終りに近づいた。阿部氏いくらか地足らず、ようしとばかり最後の勝負を此の大石に集中する。悠々と打っていた中島氏ハーッと此の時突然奇声を発した、阿部氏の一眼を欠かんとすれば追落しにかゝり、押し手なしとなった。中島氏面り四目ですねと独り言をいふ阿部氏ほっとしたようす

續り次頁へ

お知らせ

ドトール・マリオ・笠原氏は一月五日より丸一ヶ月の予定にて聖市医大のクルソへ入学の為め出聖中です

その間、代理として清水医師が勤務されます

バストス病院

その安心感が次の打着点を誤らした、中島氏すかさず四目の一隅を欠ぎ勝敗を決してしまった。阿部氏「此のおれが何たる事を」と歯ぎしりをして口惜しがる事、時を久しうす。

此の両人 計らずも準決勝で再びかぎが合った。阿部にとっては正に江戸の仇は長崎であり、中島氏は長崎迄行かぬうち下の関あたりで返り打ちにしてくれんと双方大上段に構へやるゾ、さア来いとばかり対局がはじまる、阿部氏は独特の大上段をマイスふりかぶり大目の戦法、中島氏は大刀を粋かにおろして小目の対陣 勢力と実利、中盤に二ヶ処激戦がはじまったが布石の優位に據によって中島氏じっくり勝をおろし、とうとう中押勝となったが、結果から見て阿部氏には二手の悪手、緩手が禍ひしたようである、

○ランシャリアの大天狗青島自称初段(二級)の奮戦空しく予選には落ちたが残念組の決戦に優勝して大いに貫禄を示した。

○バストスに其の人ありと知られた小天狗の東ビトリオ君、抽籤の時中島さんとはぶつかり度くないともらせば中島君も最近ぐんぐん頭角をあらわして来たバストスの麒麟児東君は若手と見え「これは俺の言ふことだ」とお互に敬遠していると皮肉にも、最初にぶつかってしまった、さアこうなれば親も子もない真剣の勝負、一言もしゃべらず精魂を傾けつくして戦ふ遂に中島君二目の勝、東君はベストをつくして敗れたが翌日曰く昨夜はあの勝負のことを考へて眠れなかった」くやし涙か發憤か、この小天狗は末恐ろしい。

○パラガスーより遠征の中原仁吉老(元プログレツソ在住)むすこさんがあちらで寫真店を開いて居るので移転されたが、あちらには碁打が居らず淋しくてどもならんとの風のたより、今度の大会の通知状を受取るとガゼンじっとして居られずかけつけたが見事残念組の四等、老いたりといへども意氣中々壮んであった。

○皆さんご苦労様(N人)

オフヰシーナ開業御挨拶

阿部五郎

私儀この度佃(つくだ)氏經営のオフィシーナを譲受け開業いたしました。

○オートモヴェル ○カミニオン ○トラットール

一切の修理を迅速、叮寧、確実に致しますれば、何卒御用命の程伏して御願ひ申上げます

ドッキ 元 カシヤス街(Av パウリスタ角)

OFICINA ABE

サンシルベストレの大競走に参加して

昨年末、十二月卅一日午後十一時四十五分を期して聖市ガゼッタ社前より出発して七千四百米の走路を一周してゴールインするといふサンシルベストレ大競走に世界の強豪にまじってあっぱれ健脚を誇ったバストスの大貫選手の手記を左に發表する。

ブロリアII 大貫

毎年行はれるガゼッタ エスポルチーバ主催のサンシルベストレは本年度(五三年)は二十九回目の大会で僕とシャカラ寺岡君と二人で参加、十二月廿九日午前八時廿五分バストス發、聖市着九時五二分、駅外には大粒な霧雨が降っていた。五分ばかり待っているとオニブスが来たので早速飛びのってメルクーリヨ街十階の東洋ホ

阿部五郎クン開業

数年前、前原オフィシナの主任として敏腕を謳はれて居た、阿部五郎氏は、其の後北巴プロコピオ市に転住していたが、今度、オフィシーナ佃を譲受けて開業することとなった。同氏はメカニコとしては当代のピカ一、どんな六ヶ敷しい仕事でも五郎氏の優れた腕でどしどし処理されてしまふ

クルマ持つ人はこれにて一安心です

テルに辿り着いたのは夜の十一時頃だった。大会を目前に控えて僕達はバストス代表となって来た以上、全力を盡して最後迄頑張ろうと希望に燃えていた。大会出場ともなれば最適のコンディションを身につけねばならぬ、明日はチエテ運動場へ出かけて準備運動を是非やろうと話して寝に就いた。

十二月三〇日。十時頃ガゼッタに行き大会出場の手続や番号を貰いに行った、戸口其処にバヂーリャ体育局長が長身を現はしていた。私はバヂーリャ氏に挨拶して事務室に行って用件を済ました。ガゼッタの屋外上層には各國の旗がぶらりと並び風に翩翻とゆれていた。人間機関車ザドベックの噂をあちこちでしている。超人的世界長距離王は多くの人々から尊敬を受け素晴らしい人氣で唯々驚異の外はない。聴て午後四時となったのでチエテ競技場に寺岡君と定刻した出かけた。三十分ばかり練習。大会は愈々明日だ、何だか恐いような氣もするが又勃々と勇氣も生れてくる。百位内外にくい込めれば成功だが順位は兎に角、全力を盡して走ること、これがスポーツ精神だ。武者ぶるいがやまない。

十二月三十一日愈々大会の幕は今夜十一時四〇分に切って落される。夕食後八時頃ガゼッタに行った、デホジットの山根氏も同行してくれた。まだ時間が早いので選手は集っていなかった。十一時頃になると殆んど選手が出揃ったのであろう、ガゼッタの前は観衆と選手ですっかり埋ってしまった。

時間が迫って来た頃役員達が各選手のカリンバを始めた、我先きにと犇き合ふ選手の意氣は物凄く荒い。出場選手二千三百名のカリンバが終る、もうぼつ／＼スタートの時間だと氣をもんでいると先方に一発ボンバの音。スタート線には太い縄が張ってあり、伯國人は縄より後ろ、各國選手はスタート線より先方に居て自由自在に走っている。何の予告もなく選手はざわめき立った。さっきのボンバの音に迷はされて先頭の一團はもうスタートしてしまった。後方部隊は号砲の一発はまだか／＼と待ちかねている。そんな喰いちがいで先頭と後方は一分間の差を以てスタートしたのであった。

静かに顔面にあたる冷たい夜風、目前の高層ビルディングから流れ出る白い雲、道路の両側には何万という観衆、その間を川の水のように何千といふ選手が奔流する、その選手にもまれないように身をかわしつゝ、くぐりぬけるようにして前に出ようとあせる、オートバイの爆音、自動車のサイレン、電車の轟、今や豪華なスポーツの祭典はくりひろげられたのである。

（以下次号）

謹んで遥かに千九百五十四年聖市設立
四百年意義ある新年を迎へ衷心より
御祝詞申上げます

昨年六月渡伯御訪問の際は一方ならぬ御懇情を賜はり厚く御礼申上げます。十一月十日帰途聖市より飛んで佛國パリに四日間滞在、十七日ローマ、十八日カラチ、十九日サイゴンと飛行機の都合で欧州各地視察予定より三日間遅れて十一月廿日早朝羽田着陸引続き用務のため東京に滞在十二月三日無事郷里に帰りました。顧れば六月十一日郷里を離れて百八十日の永い／＼旅行を続け一日も故障なく至極順調に、御活躍中の懐しの皆様方に親しく御逢出来たことは今更以てこの上もない喜びで御座います。これ偏に皆様方の御援助の賜と深く感謝いたしております。帰國早々各府県並に県地各地歴訪して年末漸く自宅に落つき細かながら日出度新春を迎へました、有りがたう存じます。合掌

戦後日本の窮状はさる事ながら此度の風水害の惨情は局部とはいへ頻る甚大で筆紙につくしがたく、復旧の見込は全然つかない処も多々あります。災害五ヶ月後の今日今なほ応急工事に忙殺されて居る有様お察し下さいませ。

重ねて申します、在伯の皆様祖國再建の外廓として層一層頑張って下さい。本年も相変らず御交誼の程御祈り申します。

昭和廿九年一月元旦

和歌山県有田郡糸我村

桑原竹次郎

右は航空便にトーシャ印刷がしてあり同文で各地へ出されたものと思はれますが末筆に次の様にペンで認めてあります
「此の賀状バストスへは十人位出して居るが皆さんに一々出せないので出来れば週報へのせてもらい度い云々
私も本年十一月迄に今一度渡伯する事になると思ふ
其の時は又宜敷願い上げます云々」
七十歳になられたといふ桑原翁の意氣誠に壮者を凌ぐばかりである。御健康を祈る。
（糸音生）

記事輻輳につき次週まわしとせるもの

1. バストス椰木樹会の記
2. バストスの想出、島本公
3. バストス週報昔話
4. 上野袖子師傳演筆記

ホトトギス入選句（十一月号）

バストス　植木水仙子

笠戸丸心に浮べ入植祭

天の川異國に果てることを婦　坂東春歩

牛の仔の育つは早し牧小春　渡部きわ子